

特派員が語る

中国の現実と

日中関係



講師:平岩勇司さん
中日新聞社・前中国総局長

プロフィール

1968年、愛知県岡崎市生まれ。早稲田大学教育学部社会科学専修卒、91年中日新聞（東京新聞）入社。

東京本社特報部、さいたま支局、名古屋社会部、文化部などを経て2006～09年に中国総局（北京）に勤務。毒ギョーザ事件、チベット暴動、四川大地震、北京五輪、天安門事件20年などを取材。

名古屋社会部で6年間ニュースデスクなどを務めた後、15～17年に中国総局長として再び赴任。天津爆発事故、軍事パレード、南シナ海問題、中国残留孤児、盧溝橋事件80年、劉曉波氏死去をめぐる問題などを取材。また、多面的な中国の現状を取り上げる連載「14億人の日常」を始め、「中国LGBT事情」「中国のキリスト教」「高齢化事情」などをレポートした。現在、東京社会部デスク。

日本を追い抜き、世界第2位の経済大国になった中国。アメリカと肩を並べるほど軍事を強化している中国。なんとなく怖い国と思われている中国。でもその実情を私たちは知りません。人々はそのような暮らしをしているのか。強権的な習近平政権に対する不満や批判はどのようなのか。軍国日本の侵略に対する怒りは解消されているのか。今の日本政府の動き、九条を変え戦争をする国へと進むつもりでいる日本をどう思っているのか。中国特派員歴7年の平岩勇司さんに大いに語ってもらい、議論を深めましょう。

日時：3月24日(土)
14時(開場13時30分)

参加費：資料代として500円（学生無料）

場所：愛知大学 車道校舎
K901教室(9F)

地下鉄桜通線「車道」駅1番出口徒歩2分

主催：愛知大学九条の会

協力：「九条の会」愛知・大学人の会
東海放送人九条の会 第9条の会なごや

連絡先：jimukyoku@aidai9jo.sakura.ne.jp

080-3076-7480（田川）